

日本を代表する歌人齋藤茂吉は、現在の蔵王第二小学校とよばれる前の時代、半郷尋常小学校（じょうじょう）に学びました。

ふるさとの自然や人びとを心から愛し、すぐれた短歌を数多く残した茂吉は、かつて遊び学んだ学校を懐かしんで、子どもたちの健やかな成長を励ます歌「あかねさす」を詠み、それを昭和十二年、色紙に書いて本校へ贈りました。

創立百周年を記念して設置しました「あかね（茂吉記念コーナー）」では、学校に残る写真と齋藤茂吉記念館の協力を得て、茂吉の生い立ちやふるさとへの思いをたどりながら、輝かしい業績をこれからも絶えることなく伝えて行きたいと思えます。

平成十二年十一月



山形市立蔵王第二小学校
創立百周年記念実行委員会

あかねさす

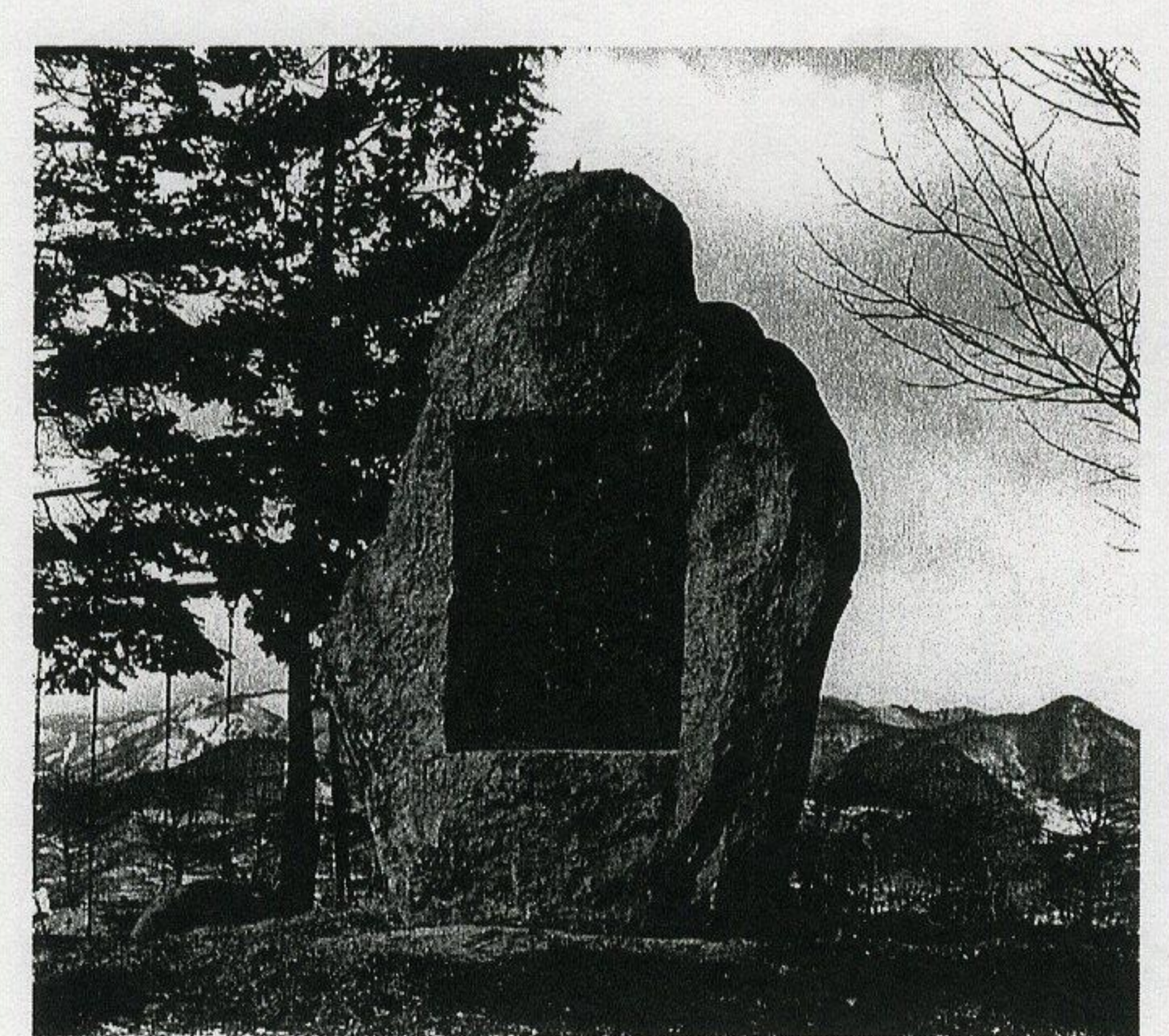
日のまともなる

高岡（たかをか）に心ゆたけく

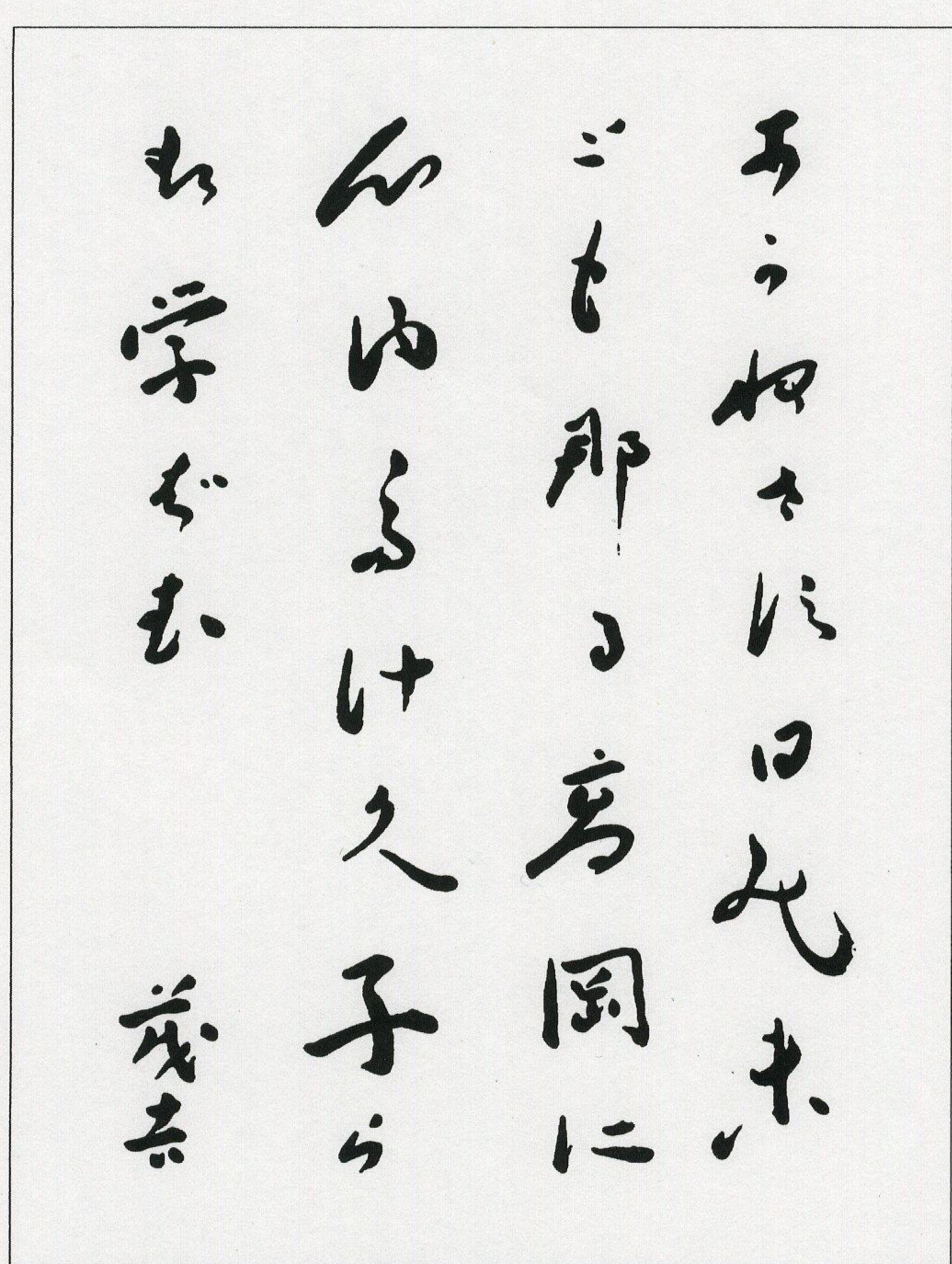
子らは学ばむ

茂吉

※この歌は、齋藤茂吉歌集「寒雲」に「山形県堀田小学校のために」と題し収められています。



校庭内の齋藤茂吉歌碑（昭和38年建立）



本校のために書かれた齋藤茂吉自筆の色紙